

管路診断コンサル協

管路マネジメント加速へ

管口・人孔カメラ 「管診鏡」の販売開始

管路診断コンサルタント協会（山崎義広会長）は、管口・マンホール点検機器「管診鏡（MC・PC）」の販売を開始した。管診鏡MCはマンホール更生等の実施設計の際の点検などへの適用を、管診鏡PCは状態把握保全に基づく点検やストックマネジメント実施方針策定のための維持管理情報収集・蓄積用途などが想定される。併せて両カメラによる点検業務を想定した歩掛も整理しており、今後機器および業務の浸透を旨とする。

管診鏡のラインアップは、マンホール点検用カメラ（管診鏡MC）、管口カメラ（管診鏡PC）の2機種。管診鏡MCは、伸縮ボールの先端部に360度照射ライトと360度方



管診鏡PC 管診鏡MC

管診鏡PCは伸縮ボールの先端にLEDライトと高解像度デジタルカメラを取り付けた構造で、撮影した内部映像は静止画または動画として保存が可能。1500万画素もの高解像度が最大3.8倍ズーム機能を備える。両製品とも地上作業のみで点検業務が完了するのがコンセプト。伸縮ボールは長さ6.5mまで伸ばして使用できる。入孔作業の際に必要であった安全対策（硫化水素中毒・酸欠対策）を省略

点検機器・歩掛整理も 第24回 管診鏡コンサル協 社員総会 浸入水で共研継続も

管路診断コンサルタント協会（山崎義広会長）は10月30日、都内で第24回（通算第24回）社員総会を開催し、管路マネジメントの進展後押しに向け、管口・マンホールカメラの販売事業への着手等を盛り込んだ令和2年度事業計画案を承認した。検温、手指消毒など新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止処置を

講じた上で、理事・監事および事務局長のみの最少人数開催とした。前年度からの新規入会者は、水環境フォーミング、水都環境の3社。前期は、2019年度を当初とする5か年の新中期ビジョン2020を策定し、高野サトウ氏を上「管路診断技術の進化への貢献」異業種「産官学」の連携」等を柱とする施策展開を定めた。



山崎会長

他団体との連携事業として、日本下水道新技術機構や自治体、民間企業らと共同で「分流通水水道における雨天時浸入水の調査技術に関する共同研究」に参画。長年自治体を悩ませる雨天時浸入水問題に関して、調査プロックを2段階まで絞り込む調査技術の体系化や、それら技術の現場



人孔内を360度撮影(管診鏡MC)

した一方、新たな生活様式への対応を踏まえウェビナー形式を取り入れ技術研修会の開催を試みた。今期より、管口・マンホール点検用カメラ（管診鏡）の取扱いを決めた。販売代理店として民間企業、下水道管理者に対し広く提供を行う。管診鏡の取扱いに併せ、「下水道管路施設改築・修繕に関する設計委託標準歩掛（案）」【高解像度カメラを用いたマンホール・管口点検編】を10月に発行しており、スクリーニング業務で同歩掛の活用を

動きかけていく。冒頭あいさつの中で山崎会長は「48万円に及ぶ管路の適正な維持管理が焦点となる中、その潮流を後押しするため、管口カメラの取扱いを決めた。管路分野におけるストックマネジメントの進展、ひいては協会会員の業種拡大にも貢献できれば」と新たな取組みに触れた。

今後の研修会・講習会事業についてはコロナ禍情勢が不透明なことを踏まえ、ウェビナー形式の積極活用を視野に入

管診鏡MCは伸縮ボールの先端にLEDライトと高解像度デジタルカメラを取り付けた構造で、撮影した内部映像は静止画または動画として保存が可能。1500万画素もの高解像度が最大3.8倍ズーム機能を備える。両製品とも地上作業のみで点検業務が完了するのがコンセプト。伸縮ボールは長さ6.5mまで伸ばして使用できる。入孔作業の際に必要であった安全対策（硫化水素中毒・酸欠対策）を省略

管診鏡PCは伸縮ボールの先端にLEDライトと高解像度デジタルカメラを取り付けた構造で、撮影した内部映像は静止画または動画として保存が可能。1500万画素もの高解像度が最大3.8倍ズーム機能を備える。両製品とも地上作業のみで点検業務が完了するのがコンセプト。伸縮ボールは長さ6.5mまで伸ばして使用できる。入孔作業の際に必要であった安全対策（硫化水素中毒・酸欠対策）を省略